

## おふろそうじ



ねん くみ ( )

コウタロウは、よく おふろそうじを やります。

おふろそうじを やると、かぞくみんなが よろこんでくれます。きのうも、おかあさんが ほめてくれました。

「コウタロウのおかげで、さっぱりと おふろに はいることが できるよ。ありがとう。」

コウタロウは、うれしかったので、せんげんすることにしました。

「あしたも やってあげるよ！」

「ほんとうに？ たすかるよ。ありがとう。まかせるね。」

きょうは、ケイトの いえに やってきています。

ケイトの もっている ゲームは おもしろくて、むちゅうになって やってしまいます。いえに かえるじかんになっても、まだ つづけていたいとおもいました。

ケイトは いいました。

「まだ、じかんは だいじょうぶなんだろう？ もっと やろうよ。」

「でも——。」

いますぐ かえらないと、おとうさんが かえってきます。



おとうさんは

かえってきたら

すぐに おふろに はいるので、それまでに おふろそうじを してあげなければいけません。でも、ケイトと、もうすこし あそびたいなとも おもいました。

コウタロウは、すぐに かえるべきでしょうか。ゲームをつづけるべきでしょうか。あなたの かんがえと りゆうをかきましょう。

.....
.....

はなしあって かんがえたことを かきましょう。

.....
.....